

(様式1)

平成26年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 125	提案機関名 諸磯漁業協同組合
<b>要望問題名</b> 磯焼けの原因調査と対策について	
<b>要望問題の内容</b> 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 諸磯地先の沿岸岩礁域では、磯焼けが原因で漁場の海藻(かじめ等)が無くなってきています。また、海藻等のエサが無い事によってサザエ・アワビの種苗の生育も悪く、採介藻漁業者にとっては死活問題となっています。 については、早急なる磯焼けの原因調査と対策を要望します。 また、漁業者からコンクリートの灰汁が原因との声もあり、水質検査も併せて要望します。	
解決希望年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input type="checkbox"/> ①農業技術センター <input type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。(提案者は記載不要)

回答機関名	水産技術センター	担当部所	栽培推進部・ 企画資源部普及指導担当
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	水産技術センターでは、全国の事例について情報収集し、全国漁港漁場協会が作成した磯焼け対策ガイドラインに沿って効果を上げた優良事例に学びながら、本県各地先の状況に合った磯焼け対策の方法を提示できるよう検討を進めます。 また漁業者等が実施する磯焼け対策が効果を発揮するように、現場での技術的支援を行います。この一環として磯焼けの実態調査を実施していますのでご協力をお願いします。		
解決予定年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考			